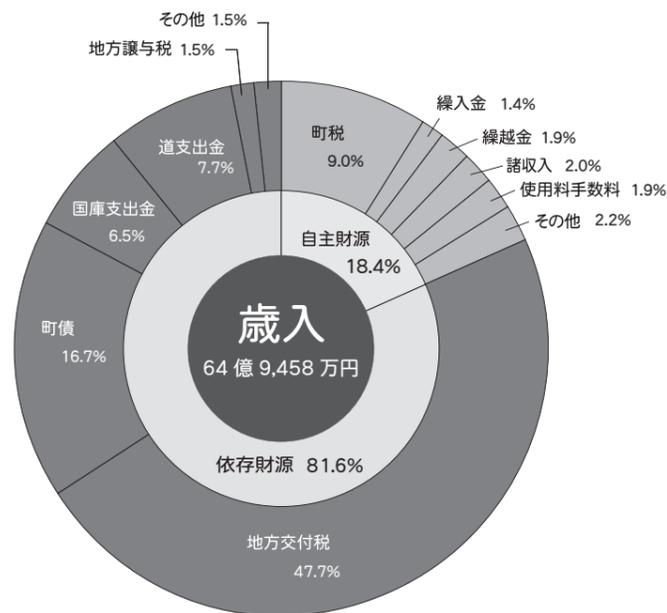


決算報告

平成22年度の一般会計と特別会計の決算が、去る12月13日から開催された第4回定例町議会で認定されました。町民の皆さんが納めた税金や国・道からの補助金などは基盤整備や福祉、教育の充実など様々な分野で使われています。ここでは、まちの家計簿である平成22年度の決算状況についてお知らせいたします。

項目別内訳



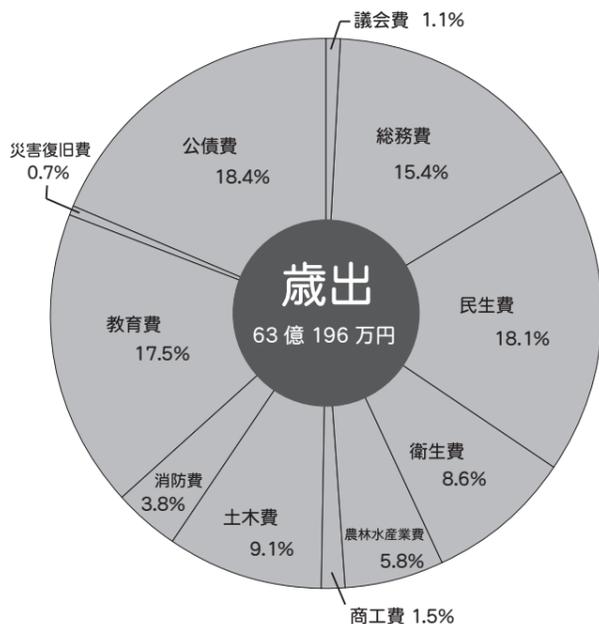
区分	決算額	前年比 (%)
自主財源	11億9,293万円	△ 6.7
町税	5億8,402万円	△ 4.2
繰入金	9,338万円	51.3
繰越金	1億2,162万円	△ 19.0
諸収入	1億2,679万円	△ 1.1
使用料手数料	1億2,095万円	△ 0.6
その他(分担金・寄付金など)	1億4,617万円	△ 29.4
小計	11億9,293万円	△ 6.7
依存財源	53億165万円	17.0
地方交付税	30億9,913万円	5.4
町債	10億8,668万円	109.8
国庫支出金	4億2,320万円	△ 38.3
道支出金	4億9,934万円	150.8
地方譲与税	9,753万円	△ 3.2
その他(地方消費税交付金など)	9,577万円	△ 3.0
小計	53億165万円	17.0
合計	64億9,458万円	11.7

町税の内訳		
税目	決算額	前年比 (%)
個人町民税	1億9,006万円	△ 10.2
法人町民税	3,402万円	△ 4.8
固定資産税	3億697万円	△ 0.6
軽自動車税	1,003万円	4.0
町たばこ税	2,606万円	△ 3.0
入湯税	1,688万円	△ 0.3
合計	5億8,402万円	△ 4.2

一般会計決算状況

平成22年度一般会計当初予算編成においては『小さくてもキラリと光るまち』『小さいからこそできる心あたたかいまち』を実現するため
 ・元気を生み出す人材力地域力の強化
 ・自立、持続できる地域経済力の確立
 ・安心を支える生活基盤の確保
 ・環境と共生する地域づくりの積極対応の4つを視野に入れ、具体的施策の予算措置をしました。

一般会計



区分	決算額	前年比 (%)
議会費	6,710万円	0.8
総務費	9億6,875万円	5.6
民生費	11億3,880万円	39.7
衛生費	5億4,547万円	△ 6.0
農林水産業費	3億6,895万円	△ 5.0
商工費	9,617万円	△ 16.1
土木費	5億7,259万円	△ 3.1
消防費	2億3,678万円	9.8
教育費	11億16万円	70.5
災害復旧費	4,610万円	△ 70.1
公債費	11億6,109万円	△ 3.6
合計	63億196万円	10.7

歳入

平成22年度の歳入決算状況は、決算額64億9,458万円、前年度決算額と比較し6億8,034万円、11.7%の増額となりました。

決算額が大きく増額したものは、町債が5億6,867万円、109.8%の増額、次いで道支出金が3億2,400万円、150.8%の増額、地方交付税が1億5,953万円、5.4%の増額等となっています。

町債が増額になった主な要因は、認定子ども園整備に係る町債が4億8,680万円、過疎地域自立促進特別事業債(過疎ソフト事業債)が6,180万円、臨時財政対策債が4,207万円増額したことによるものであり、また、道支出金では介護基盤緊急整備特別対策事業として、町内の小規模特別養護老人ホーム、小規模ケアハウス整備に係る道補助金が2億4,082万円交付されたこと等が増額要因となっています。

歳出

平成22年度の歳出決算額は63億1,964万円、前年度決算額と比較して6億9,340万円、10.7%の増額となりました。

前年度と比較して、教育費において認定子ども園整備事業、民生費では介護基盤緊急整備特別対策事業、総務費では美宇小学校跡施設売却による再利用支援事業、減債基金積立等において増額しております。また、減額した主なものは、災害復旧費、公債費等です。

主な事務事業の決算内訳

●総務費	
定住・移住促進支援事業	7,117万円
●民生費	
勤労者対策事業	2,174万円
●衛生費	
伝染病予防接種事業	883万円
●農林水産業費	
有害鳥獣駆除対策事業	970万円
●土木費	
地方特定道路整備事業	3,446万円
●教育費	
認定こども園開設事業	5億5,110万円

特別会計決算

特別会計	歳入	歳出
簡易水道事業特別会計	2億8,160万円	2億7,623万円
下水道事業特別会計	1億9,665万円	1億9,420万円
国民健康保険特別会計	8億1,205万円	7億9,572万円
後期高齢者医療特別会計	5,415万円	5,399万円
老人保健特別会計	11万円	11万円
介護サービス特別会計	3億2,878万円	3億2,285万円
合計	16億7,334万円	16億4,310万円
差引繰越額		3,024万円

国民健康保険診療所会計

事業収益(収入)	3億5,854万円
事業費用(支出)	4億1,821万円

平成22年度

患者受入状況	1日平均患者数	患者延べ数	前年度比	
			増減	増減率%
入院	16.6	6,077	△ 439	△ 6.7
内科・小児科	15.9	5,806	△ 543	△ 8.6
整形外科	0.7	271	104	62.3
外来	101.4	24,846	△ 788	△ 3.1
内科・小児科	79.2	19,416	△ 1,760	△ 8.3
整形外科	22.2	5,430	972	21.8
合計	118.0	30,923	△ 1,227	△ 3.8